



命を守る



日本では年間 2 万匹以上の犬が殺処分されているにも関わらず、多くの人がペットショップなどで子犬を購入しています。しかし、ここ西オーストラリア州では数多くの団体が、犬の今ある命を守ろうと活動しています。

取材協力、情報・写真提供：DOGS' REFUGE HOME

“NO KILL” をコンセプトに、虐待や飼育放棄された犬を引き取り、訓練を施して、里親に出している DOGS' REFUGE HOME にお話を伺いました。

Q

まず、DOGS' REFUGE HOME とはどういう施設か教えてください。

A

1935 年から続く非営利団体の、犬を対象とした救済施設です。西オーストラリア州では一番歴史が古く、そして最大規模で活動しています。経済的な理由で飼うことが難しくなったり、様々な理由で飼育放棄された犬を保護し、もう一度社会復帰できるように当施設で訓練をしたのち、新しい飼い主の元へと送り届けています。その他、生後 12 週間から行う訓練や生後 16 週から 24 週の仔犬を対象とした訓練なども行っています。

Q

ご自身にとって人と犬の良い関係の築き方とは何だと思いますか？

A

犬を飼うということは、人間にとって子を持つということと一緒にです。そういう風に考えれば、きっと上手く関係を築いていけると思います。しっかりとした訓練ををして育てれば、人に危害を加えたり、無駄吠えしたりなど、犬はトラブルを起こしません。犬は人間のように、私たちのことをちゃんと理解して、反応してくれます。



DOGS' REFUGE HOME

General Manager

Judy Flanagan

ジュディー フラナガンさん

DOGS' REFUGE HOME では約 3 年目になるが、ボランティアを含め、犬に関わる仕事は 30 年以上になる。



「2016 年 HIF Dog 'n' Health Games」というイベントに参加している参加者と犬。2017 年のイベントは、4 月 30 日に開催予定。

Q

この仕事に携わる上で、一番良かったことは何ですか？

A

保護している犬たちに、新しい飼い主が見つかったときですね。ここにいる犬たちのほとんどは訓練を受けていない状態で保護されてきます。やはり、訓練を受けていない犬は時間がかかりますが、愛を持ってじっくりと訓練していきます。そんな犬たちが、これから素晴らしい第二の人生を歩んでいくんだと思うと本当に良かったなと思います。やりがいのある仕事ですが、私たちの存在が必要ではなくなることを思い描きながら日々活動しています。